

なかやま

日頃より、名香山苑の事業にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この度令和2年度の事業報告をお届けします。ご利用者の素敵な表情とともに、各事業の活動の様子をご覧ください。



表紙の写真は、外へ出かけることがなかなか出来ない今日、天気の良いある午後のひと時にベランダに出て撮影した一枚です。外の空気が気持ち良く、笑顔が溢れました。

《基本理念》

- 1 人と地域を愛します。
すべての人に愛情と感謝の気持ちで接し、住み慣れたこの地域を愛します。
- 2 確かな介護を提供します。
専門性の向上を図り、ともに協力し、一人ひとりにあった介護サービスを提供します。
- 3 開かれた施設を運営します。
公正・公平なサービスに努め、福祉の拠点となる開かれた施設を運営します。



社会福祉法人 新井颯南福祉会
特別養護老人ホーム 名香山苑
名香山苑 ショートステイ
名香山苑 デイサービスセンター
名香山苑 在宅介護支援センター

〒949-2112
新潟県妙高市大字関川733-20

TEL:0255-86-5321
FAX:0255-86-5322

URL: <http://www.araikeinanfukushikai.or.jp>



HP QRコード

「在宅介護支援センター」

《事業内容》

①医療を中心とした関係機関とのネットワークの活用
入院中の療養や退院に向けてのリハビリに役立ててもらえるように、ご家族の了承を得て、入院後すぐに病院の関係者へご利用者の心身の状況や生活環境等をお伝えしました。また、退院後自宅に戻って生活するにあたり心配なことや困りごとを早めに解決できるように、病院やサービス事業所と連携を図りました。

②住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるように
ご利用者ひとり一人、病状やご家族の状況に違いはあっても「今まで通り、自宅で生活したい」という思いは共通です。その願いをかなえるために、どのような目標に向かってどんなふうに援助したらいいのか・・・デイサービス、ショートステイ職員とケアマネジャーで定期的に事例検討会を行いました。

③終末期の介護・医療・身辺整理などの悩み相談
元気なうちに自分の将来について考える時代になりました。人生の最後についての悩みや、不安の解消に少しでもお役に立てるよう、終活ケアプランナーの資格を取得しました。



ショートステイとの事例検討会の様子です。援助の方法についていろいろな意見が出されました。



寄贈物品・金品

- ・郷戸 頼子様
- ・絵本を楽しむ会ひだまり様
- ・古川 修様

※同意をいただいた方のみ、氏名を掲載しています。内容については省略させていただきました。多くの皆様より、寄贈品及び金品をいただきました。誠にありがとうございました。

苦情申し立て（意見箱Q&A）

ご意見・苦情の申し立てはありませんでした。今後もサービスの向上に努めてまいります。お気づきのことがありましたら遠慮なくご意見をお寄せください。

ボランティアについて

新型コロナウイルス感染症予防の為、ボランティアの受け入れは実施しておりません。



特養からの お知らせ！！



新型コロナウイルス感染症の状況に伴い、面会の制限が長期化しており、ご家族の皆様には大変ご迷惑をおかけしています。この度、さらに多くの方に利用していただけるよう、「窓越しでの面会」を開始いたしました。面会は予約制となっておりますので、まずは電話にてお問い合わせをお願いいたします。また引き続き、オンライン面会（ビデオ通話）も実施しておりますので、どうぞご利用ください。

- ★掲載している写真は、ご本人又はご家族の了承を頂いております。また、ソーシャルディスタンスに配慮し、撮影した写真を掲載しております。ご厚意に感謝申し上げます。
- ★インターネットブログにて、名香山苑の日々の様子を公開しております。表紙にQRコードも載せてありますので、ぜひご覧ください。

「ショートステイ」



〈事業内容〉

①つなぎつながらのサービスの創造
特養と併設型ショートステイを一体的に管理・強化し、併設型ショートステイ、特養、ケアマネジャーと連携を図り、特養待機者様の長期的な受け入れを行いました。

②余暇活動の充実化
余暇活動やレクリエーションの時間を利用し、季節感のある創作活動や家庭でも出来る機能維持・向上のための運動を行いました。今後もご利用していただけるよう、満足度の向上を図りました。

③5S活動の取り組み
質の高いケアを提供するため、月に一回事業所別会議を行いました。会議にて、ご利用者の対応についてや業務内容等の見直しを行いました。また、ご利用者に安心して過ごしていただけるよう、備品の点検や居室環境の改善を行いました。

「特別養護老人ホーム」



歩行訓練をされている様子です。



タブレットを使用してオンライン面会（ビデオ通話）をされている様子です。



〈事業内容〉

①個々に応じたサービスの提供
一人ひとりに安心安全に生活していただけるよう、個々に応じたケアマネジメントを実践し、自立と尊厳を支えるケアを提供しました。

②重度化防止のためのケアの実践
重度化防止のため各専門職で適切なケアが提供できるよう検討・実践することにより、昨年度と比較し入院日数を年間316日減少することができました。

③新型コロナウイルス対策について
新型コロナウイルス感染症防止のため、日々の消毒やパーティションを用いての飛沫感染防止等に努めました。また、面会制限も長期にわたるため、「オンライン面会」を開始し、多くの皆様に活用していただきました。

④行事・余暇活動の充実
新型コロナウイルス感染症対策のため、納涼会やボランティアの受け入れ、外出ドライブ等を自粛しましたが、園内で楽しんでいただける行事を企画いたしました。



「デイサービスセンター」



〈事業内容〉

①多職種連携による効果的な機能訓練の実施
ご希望のある方を対象に個別もしくは小集団で機能訓練を実施しました。椅子からの立ち上がり訓練、硬くなった筋肉のみみほぐし等、自宅での生活を想定した訓練を実施しました。

②認知症の予防と脳の活性化
認知症の予防と脳の活性化を目指し、新たな取り組みとして、「歩きながらしりとりを行う」「歌を歌いながら体を動かす」など、二つの動作を同時に行う（二重課題運動）訓練も取り入れました。



③安全な送迎サービスの実施
右の写真は新しく納車されたトヨタハイエースです。デイサービスでは5台の送迎車を所有しています。ご利用者の皆様と、新車の喜びを分かち合い、嬉しい気持ちでいっぱいです。「こんな立派な車でどこか遠くにドライブに出かけたいね。」と話されるご利用者もいました。新しい車両を大切に使い、より一層、安全運転を心掛け、安心して乗車し、楽しくご利用いただけるように職員一同頑張っていきます。

